

研究報告書

那覇市立城西小学校

I 研究主題

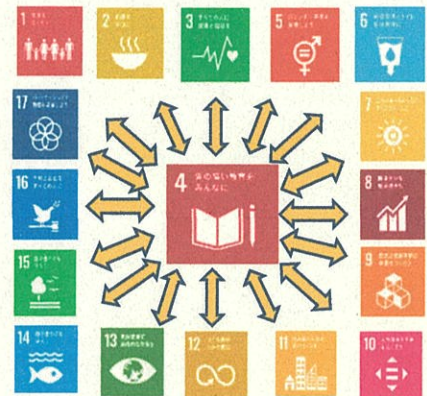
互いを認め、学び、高め合う児童の育成
— SDGs 達成に向けた取り組みと ESD 教育の開発を通して—

II 研究主題の設定理由

SDGs は、持続可能な社会の構築、つまり、今の暮らしや地球を守りながら、様々な問題を解決して、豊かで持続可能な社会の実現を目指している。この目標を達成するためには、様々な問題や社会の変化に積極的に向き合い、互いを認め、高め合うなど、他所と協働して問題を解決するためのより良い方法を考え、新しい視点で物事を見つめ直すことのできる資質能力を備えた児童の育成が重要であると考えた。

そこで、本校では学習活動の中心に SDGs 目標 4 と関連する ESD の視点を取り入れていく。ESD の視点を学習の中心に据えることで、SDGs の目標を個別に捉えるのではなく、社会的な事象や課題を総合的に捉え、全ての目標の達成に迫ろうとする児童の育成に取り組んでいく。また、ESD では「身近なことから取り組む」事が重要とされている。そこで、本校では児童の身近なことを「ふるさと首里」と設定した。「生活科」・「総合的な学習の時間」を通して身近な地域のことを「知る」・「課題を見つける」・「自分事として捉える」・「互いに考えを出し合う」などの協働的な学びに取り組ませることで、持続可能な「ふるさと首里」について多面的・多角的に考える児童の育成につなげていく。

以上の事から本研究主題を設定した。



III 研究実践の主な内容

(1) 教材、地域、学年のつながり

今年度は様々な地域人材や地域教材、公共施設等との積極的なつながりを取り入れた地域教材の「再構築」に取り組んだ。

児童が自分の住む地域の課題に気づき、課題解決に迫るため「生活科」と「総合的な学習の時間」のカリキュラムの見直しを行った。児童が地域を知り、課題に気づき、課題解決に迫るためには、それに見合う地域教材の再開発が非常に重要である。①児童の身近な地域を「ふるさと首里」と位置づけること②それぞれの学年の単元配列の見直しをすること③積極的に地域人材を活用すること④それらを丁寧に学習計画に組み込んでいくこと⑤学習で扱う教材を再度選定することなどを全職員で確認して作業を行った。

さらに ESD カレンダーの作成を通して生活科、総合的な学習の時間が他教科とどのように関連しているかが見えるようにし、教材のつながりを意識できるようにした。保護者や地域の方に本校の学習内容が伝わるように、資料部が中心となって学校ホームページで発信を行った。

(2) 活動内容

	活 動 内 容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・研究計画の確認 ・ESDについて ・研究方針の確認 ・生活科、総合的な学習の時間のカリキュラム見直し
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・「資料部」「アンケートカリキュラム部」「授業研究部」の立ち上げ ・遠足（1年）県総合運動公園「植物や生き物」
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・授業研①6年生「平和について」 講師：仲村 出 先生（国立沖縄青少年の家） ・町たんけん（2年）
7・8月	<ul style="list-style-type: none"> ・職員首里城散策（首里中小中一貫） ・生活科の授業作りについて 講師：喜瀬 結子 先生（琉球大学附属小学校） ・ESDの視点を取り入れた生活科・総合的な学習の時間について 講師：白尾 裕志 教授（琉球大学教職大学院） ・ESDカレンダー作成
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・首里公民館と首里図書館見学（2年） ・首里地域の事業所12カ所の見学、インタビュー（2年） ・カプトムシ講話（3年） ・授業研②2年生「あの人に会いたいな」 指導助言：校長 仲地 千佳
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員講話「私の学校だよ」（1年） ・壺屋焼き物博物館出前講座（3年） ・首里城見学（4年） ・首里復興の歌（6年） ・首里城募金（全体）
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・森の家みんな出前講座（1年） ・首里城、地域の事業所見学7カ所、オオゴマダラ講話（3年） ・地域の事業所見学、町づくり協議会講話、紅型づくり体験（4年） ・紙すき（琉球紙）体験（6年） ・授業研③3年生「私たちの住む町首里」 講師：白尾 裕志 教授（琉球大学教職大学院）
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・授業研④1年生「あそびにいこうよ 見つけた秋であそぼう」 ・授業研⑤4年生「みんなで守ろう首里の町 私たちの首里大好き自慢」 講師：白尾 裕志 先生（琉球大学教職大学院） ・首里織体験、講話（4年生） ・キャリア教育講話（6年） ・秋まつりへこども園児童の招待（1年）
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会（生活科、総合的な学習の時間） ・研究のまとめ
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・授業研⑥5年生 ・埼玉県所沢市の小学生へ首里紹介とオンライン交流（3年）

(3) 研究実践

① ESDカレンダー

1年 ESDカレンダー

		1 学期					2 学期					
月		4	5	6	7	8・9	10	11	12	1	2	3
国語	ききたいな ともだちのはな としよかんへ いこう		わけをはなそう (観察文) おおいくなった	ずきなもの、 なまに こんあことが あったよ (絵日)		ききたいな、 10より大きい数 大きさを比べ	しらせたいな、 見せたいな (観察記録)		てがみて しらせよう		これは、 なんでしょ う	いいこといっぱい 1年生
算数	数とすじ											
音楽	うたっておどってなかよくなら		命のリレー					がつきとなかよくならう			日本のうたをたのしもう	
図工		みてみて ぬね		ほこでつくったよ				ならべてならべて				
体育												
道徳				げんきでね あげはくん (自然愛護)			空色のたま					
生活		がっこう 大きい	わたしのあさがお		いきもの だいすき		わたしががっこうだよ		ありがとうがいっぱい			もうすぐ2年生
学法	たのしい 漢字	たのしい 図書館					1がつきががんばったね しゅうゆのけいかくをたてよ				おまねきあひ けいかくを たてよ	もうすぐ 2年生
学校 行事	入学式 春の遠足	一年生を 迎える会						運動会		学習発表会	6年生を送る 会	修了式

②生活科、総合的な学習の時間のカリキュラム見直し

R5年度 那覇市立城西小学校 ESDの視点から繋ぐ生活・総合のカリキュラム(現状・昨年度・今年度の予定を含め作成) 第1回校内研全体後ver.

系統性	学習内容	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		スライラル	思いや願いを持つ(生)課題の設定(総)	活動や体験をする(生)情報の収集(総)	感じる・考える(生)整理・分析(総)	表現する・行為する(生)まとめ・表現(総)						
身近	1年 みんな	○がっこうだいすき【がっこうたんけんに行こう(5)】【もっとわくわくしたいな(4)】【わたしの学校だよ(9)】 ○わたしのあさがお【たねをえらぼう(3)】【たねをまこう(2)】【めがでた(2)】【はながさいた(2)】【せわをしよう(4)】【あたらしいたね(3)】【おもいだしてみよう(5)】 ○あそびにいこう【みつけたはるであそぼう(5)】【あめとあそぼう(1)】【あつくなよ(4)】【あきをたのしもう(5)】【みつけたあきであそぼう(5)】【ふゆをたのしもう(4)】【あそび名人(4)】 ○いきものだいすき【なかよくならう(7)】【むしだいすき(6)】										
	2年 みんな	○【がっこうたんけんに行こう 1年生との交流会(5)】【もっとわくわくしたいな(4)】【わたしの学校だよ(9)】 ○まちたんけん(7) まちたんけん(あの人に会いたいな 18) *地域との連携 ○わたしたちの野菜畑(ピーマン 14) ○わたしたちの野菜畑(果物 7) ○生き物と友達(9) ○作って遊ぼう動くおもちゃ(1年生と交流 18)										
	3年 「生き わた 住」	○生き物博士になろう ○首里のステキ見つけ隊										
地域	4年 「首 里」	○水はどこか ら?	○県の農業・ 工業 (理)天気と気	○ゴミ問題 (理)雨水の中 へ	○自然災害		○地域で受け継がれた伝統 工芸のよさを伝えよう(首里 城)	○昔から今へ と続くまちづく り	○わたしたちの県のまちづく り			
	5年 「沖 縄」	○オリエン テーション (1)	○沖縄の暮らし について 知る	○首里城や開 りの歴史的 文化財など を絵 に表す(6)	○沖縄について 知る(7)	○沖縄の自然を 楽しむ(7)	○沖縄の語り を楽しむ(6)	○沖縄の文化を楽しむ(11) *福島県津波 被害の 「城西小学校 (じょうさい小)」交流	○沖縄の 行事を楽 しむ(5)	○課題に 向かって 探究活動 を行う(13)	○発表 会を開 く(2)	○学年のま とめ(1)
6年 「キ ャリア」	○平和学習 ・オリエ ンテー ション ・平和記念資料館見学 ・ひめゆり資料館見学 ・沖縄について知る ・パンフレット、新聞づくり *1学期まとめの発 表会 ○キャリア教育 ・やりたい職業について調べる(やりたい職業や人生設計図を書こう) ・キャリア講座(検討中) *これからの生き方について考える											

③学校ホームページでの発信

16 **SDG 16**

SDGsの目標16: 平和と公平をすべての人に

単元名: 沖縄戦から学び伝えよう～平和をつなぐ私たち～

活動内容: 沖縄戦について調べた情報を整理・分析する。

活動場所: 6年4組

平和の尊さや大切さを伝えるために、これまで集めた情報をグループで思考ツールを用いて整理・分析しました。

7 **SDG 7**

SDGsの目標7: エネルギーをみんなにそしてクリーンに

単元名: 風やゴミで動かそう (理科)

活動内容: 風やゴミを使って地球に優しいエネルギーを考えよう。

場所: 城西小学校の教室

8 **SDG 8**

SDGsの目標8: 働きがいも経済成長も

単元名: はたらく人とわたしたちの暮らし (社会)

活動内容: 買い物調を運送して、私たちの生活を支えている人々の仕事を学ぶ。

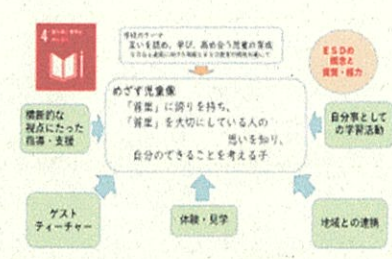
場所: 城西小学校の校内外 (校区)

④授業の実際

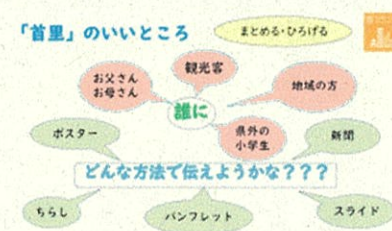
単元作りの際には、ESDの構成概念「Ⅰ多様性」「Ⅱ相互性」「Ⅲ有限性」「Ⅳ公平性」「Ⅴ連携性」「Ⅵ責任性」と7つの能力態度「①批判的に考える力」「②未来像を予想して計画する力」「④コミュニケーションを行う力」「⑤他者と協力する力」「⑥つながりを尊重する態度」「⑦進んで参加する態度」をどのように身につけさせるかを学年や全体で確認しながら進めた。改めて地域の課題やよさに気がついたり相手により伝わるように工夫したりする児童が多く見られた。



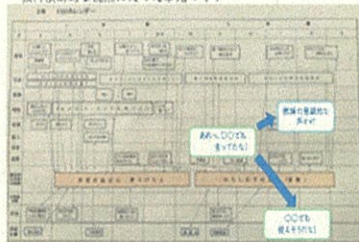
1学期 3年テーマ「首里の自ぜん 見つけたよ」



2学期 3年テーマわたしのすむまち「首里」



↓ 3学年の実践



IV 研究の成果と課題

- 全ての教科においてESDの視点に立った学習指導を行うことが「持続可能な社会の担い手」の育成につながるという共通理解を図ることができた。
- 「ふるさと首里」を研究の中心に据えることで、職員が地域に目を向ける機会ができた。首里の良さや課題、地域素材や人材の掘り起こしを行うことで地域の教材化の有意義さを認識することができた。
- これまでは感染症の影響で地域との関わりが希薄になっていたが、校外学習や体験活動、地域人材の講話等を積極的に設定することで、児童が「首里について知る」ということが達成できた。
- 生活科、総合的な学習の時間を中心に研究に取り組んだことで、教師が他教科とのつながりや他学年との繋がりを意識することができた。児童が教材や地域、人との繋がりを感ずることができるような単元づくりに取り組むことができた。
- 今年度は単元計画の見直しを行うことができたが、各学年で内容の重複が多少見られたため、小学校6年間で「ふるさと首里」に関する知識や課題解決の意識が深まるような単元配列や内容の見直しが必要である。